

レジメン名称(イリノテカン(d1) + アービタックス(d1、8))

大腸がん

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

薬剤	投与量	投与日		1 コース 2 週間
		Day 1.....8.....15 (=Day1)		
アービタックス	初回 400 mg/m ² 、2 回目以降 250 mg/m ²	↓	↓	
イリノテカン	150 mg/m ²	↓		

レジメンオーダー以外に必要な処方

皮膚障害予防：ヘパリン類似物質油性クリーム 0.3%（ヒルドイドソフト） 2 本 1 日数回

血清 Mg 測定（3 ヶ月に 1 回以上）

必要時（制吐剤予防投与）：day2～：デキサメタゾン（デカドロン）4～8mg 1×朝 2 日間 内服

注意事項

アービタックス：インフージョンリアクション（気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識消失、ショックなど）に注意。

1 回目：投与時に心電図モニター、BP、HR などの確認の必要あり（詳細は投与方法の項を参照）

投与方法：1 日目	
1	生食 100mL ケモセーフロックの点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒（チェンバー）を 3/4 程度満たす
2	ポララミン注 1A、ファモチジン(20mg/20mL) 1A、ゆっくり、下の側管から投与
3	グラニセトロン(3 mg/100 mL)、デキサート(3.3mg/1.0mL) 2A 30 分かけて点滴、メインルートから投与
4	アービタックス _____ mg, 生食（初回 500mL, 2 回目以降 250mL） 初回 120 分、初回問題なければ）2 回目以降 60 分かけて点滴、メインルートから投与 初回のみ下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：全身状態の確認（呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気）
5	生食 100mL、メインルートから ゆっくり 経過観察 初回 60 分、2 回目 30 分、3 回目以降 15 分間 終了後、メインルートを止める
6	イリノテカン _____ mg, 生食 250 mL 90 分かけて点滴、ケモセーフロックのルートから投与
7	5 の生食を使用し、ウォッシュアウト、ゆっくり、適宜途中終了可、残は破棄可

投与方法：8 日目	
1	（ケモセーフ不要）生食 100mL メインルートにつなぎ、プライミング
2	ポララミン注 1A、ファモチジン(20mg/20mL) 1A、ゆっくり、側管から投与
3	生食 100mL、デキサート(3.3mg/1.0mL) 2A 30 分かけて点滴 メインルートから投与
4	アービタックス _____ mg, 生食（初回 500mL, 2 回目以降 250mL） 初回 120 分、初回問題なければ）2 回目以降 60 分かけて点滴、メインルートから投与
5	生食 100mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 適宜途中終了可、残は破棄